

事務事業評価シート

評価年度	令和元年度	対象事業年度	平成30年度
------	-------	--------	--------

所属・担当者氏名	環境建設部 土木管理課 土木管理係 米田 真幸	評価責任者 (担当課長)	土木管理課長 竹村 育志
----------	-------------------------	-----------------	--------------

1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	側溝維持整備事業	② 整理番号	03020203-002
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	元気にぎわいのまちづくり	
	節	都市基盤の整備	
	項	道路交通体系の確立	
	号	生活道路の整備	
④ 関連する個別計画	なし	⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	道路法、大和高田市法定外公共物管理条例、同条例施行規則		

2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	市民生活利便性の向上
② 対象 (誰・何を対象として)	市民
③ 手段 (どのようなやり方で)	雨水の排水を確保するため、側溝の整備等に取り組む。
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	大雨降雨時の雨水排除を円滑にできる。

3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による

(単位：千円,人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
① 直接事業費	22,736	31,991	17,618	25,475	(予算) 30,824
② 概算人件費	(0.79) 5,804	(2.42) 8,652	(1.54) 9,753	(1.50) 9,480	
(関与比率) 一般職員	(0.79) 5,804	(2.21) 8,302	(1.33) 9,403	(1.29) 9,130	
(関与比率) 嘱託職員					
(関与比率) 臨時職員		(0.21) 350	(0.21) 350	(0.21) 350	
③ 合計 (① + ②)	28,540	40,643	27,371	34,955	
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)					(当初予算)
⑤ 一般財源 (③ - ④)	28,540	40,643	27,371	34,955	

4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実績値			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① 整備箇所数	整備箇所数	4箇所	3箇所	3箇所	4箇所
	②					
成果指標	① 整備延長	整備延長	741 m	650 m	57 m	95 m
	②					
効率指標	① 整備1m当りのコスト	事業費/整備延長	10,925 円	28,355 円	92,974 円	87,455 円
	②					

5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	関係法令等で定められた事業であり、法定外公共物の所有者である市が行うべき事業である。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	A	事業実施箇所周辺においては、大雨降雨時の雨水排水を円滑にすることにより市民生活の利便性が向上している。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	A	単位当たりのコストは、年度により事業内容が異なるため増減はあるが、事業コストの削減に努めており、適正である。

6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善・見直しの内容(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)
A	<input type="checkbox"/> 人件費の重点化 <input type="checkbox"/> 予算の重点化 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 事業の統合 <input type="checkbox"/> 実施内容の変更 <input type="checkbox"/> その他

7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善内容・改善計画(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)